



NEW VOYAGE

OWS節政健一 いざ、モロカイ 海峡横断へ!



By Team Saco
Supported by KOWAKAI
Writer: Sumika Sakoda



オープン・ウォーター・スイマー(OWS)節政健一さんをお迎えして、今年9月に控えた新たな海峡横断への意気込を語っていただきました。遠くは鹿児島・長崎より、30名を超える来場者とともに、期待に胸が高鳴ります。3年ぶりの挑戦についてその理由を尋ねられると、3年前のドーバー海峡横断は結果として失敗ではあったものの、後悔などあろうはずがない。それはまさに全身全霊で取り組んだ結果ですと振り返ります。節政さんにとって挑戦とは、過去の失敗へのリベンジなどではなくいつも新たな冒険。ドーバー海峡横断に成功していたら? 今ごろどこで何をしていたでしょうね(笑)とも。世界の子どもの希望となるような存在でありたい、とチャレンジにかける想いも明かしてくれました。また、生まれたときが100%、使い切ってゼロになるまで人

は死なないという人生観や、子どものころに夢みたくを自ら実行できるのが大人になるということだなど、身体を張ってチャレンジを重ねてこられた節政さんならではの、力強いメッセージが印象的でした。普段はわりとネガティブで些細なことでも気になる方だし、優柔不断なところもたくさんあるという意外な一面も。あるテレビ番組で、盲目の人がドーバー海峡横断にチャレンジしている姿を偶然目にしたことがキッカケで、海峡横断を心に誓ったのだそう。迷いとは無縁の人生のように思われますが、その背中を押してくれるのは、一度決めたらとことん譲らない頑固な性格だと、こっそり教えてくれました。このあと夜勤なんですよ〜と、軽やかな足取りで会場を後にしたサラリーマン・節政健一 30歳(もうすぐ31歳!)。新たな海峡横断への挑戦に、会場からも大きなエールが送られました。